

船は木の葉のように波間を揺れ、涙はとめどなく頬を流れる……神よ、私達が何をしたというのですか！

フェイ・ダナウェイ
キャサリン・ロス
リン・フレデリック
オスカ・ウェルナー
マックス・フォン・シドー
マルコム・マクドウェル
オーソン・ウェルズ
ジェームス・メイソン
ベン・ギャザラ
リー・グラント
マイケル・コンスタンチーヌ
ホセ・ファーラー
ヘルムート・グリーム
ポール・コスロ
フェルナンド・レイ
マリア・シェル
サム・ワナメイカー
レオナード・ロシター

製作 ロバート・フライヤー
監督 スチュアート・ローゼンバーグ
脚本 スティーブ・シェイガン
デビッド・バトラー
撮影 ビリー・ウィリアムス
音楽 ラロ・シフリン
原作 マクス・モーガン・ウィッツ
ゴードン・トマス

(早川書房刊)
アメリカ映画
カラー作品
日本ヘラルド映画



VOYAGE OF 'THE DAMNED'

さすらいの航海



VOYAGE OF THE DAMNED

さすらいの航海

＜カラー作品＞アメリカ映画／スチュアート・ローゼンバーグ監督作品／日本ヘラルド映画



●かつてない感動を呼ぶ文芸大作！

1939年5月、ハンブルグを出航した客船セントルイス号には、キューバを経て外国移住を希望する937名のユダヤ人が乗っていた。

生れ育った故国を永久に去る悲しみ以上に、彼等を支配していた感情は、すでにドイツで始まっていたナチの苛酷な迫害を逃れられるよろこびと、新天地での自由な生活に対する希望だった。

だが、約束の地ハバナに待っていたのは、ユダヤ人上陸禁止、この冷酷な事実だった。ナチの反ユダヤ宣伝活動と、複雑なキューバの国内事情、それに緊迫きった当時の国際情勢は、彼等をせまい客室にとじこめたまま、再び絶望の海へと押しもどしたのだ。

全世界から見捨てられた937名を乗せて、大西洋をさすらいセントルイス号は、不安と焦躁と痛々しい悲劇のつぼであったが、同時に、あらゆる可能性をまきぐりながら生き抜き、人間の誇りを失うまいとする乗客の意志と、あらゆる手段をつくして彼等の生命を救おうとするセントルイス号の船長をはじめ、国籍、人種を越えた人々のヒューマンイズムの結合が、一筋の光のような美しさと、かつてないほどの深い感動となってこの絶望の航海を照らしてゆく……。

●目もあざやかな豪華スター！

これは、第2次大戦前夜、実際に起ったできごとをイギリスのジャーナリスト、ゴードン・トーマスとマックス・モーガン・ウィッツが、世界中に散在するセントルイス号の生き残りたちに直接会って書き上げた原作をもとに、豪華なオールスター・キャストで製作した真実のドラマである。

製作の総指揮にあたったのは、『カサンドラ・クロス』などの超大作を次ぎ次ぎと放って世界の映画マーケットにセンセーションを巻き起しているイギリスのサー・リユー・グレイド。

300万ポンドの巨費をこの作品に投じた彼は、『ミス・プロディの青春』『メイム』などを製作したロバート・フライヤーを製作者に、また、『暴力脱獄』『マシガン・パニック』『新・動く標的』などを作ってユニークな個性と骨太な娯楽性で定評があるスチュアート・ローゼン

バーグを監督に起用して、残酷な運命にもてあそばれた人々の哀しみを、巨大なスケールで展開していく。

ドラマの軸となるスターたちは10人を越えるが、全体のかなめとなるヒロイン役を演じているのは、『ネットワーク』で76年度アカデミー主演賞をさらったフェイ・ダナウェイ。いまや女の情感を演じて右へ出る者が不在彼女の堂々たる風格は、けだし見ものと言えよう。

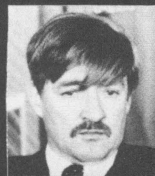
スウェーデンの名優マックス・フォン・シドー(エクソシスト)は、誠実な反ナチ派の船長。オーストリア出身の演技派オスカー・ウェルナー(華氏451)は、誇り高いベルリン大学教授でダナウェイ扮するデニス・クライスラーの夫エーゴン。マルコム・マクドウェル(スカイ・エース)は、ユダヤの血が混る船長付スチュワード。彼と恋に陥ちて死を選ぶローゼン夫妻のひとり娘アンナを演じるリン・フレデリック(熱愛)。ジェームス・メースン(戦争のはらわた)は、ユダヤ人に同情を寄せる外務大臣。ホセ・ファラー(アラビアのロレンス)は効力のない入国許可証を乱発して私腹をこやすキューバの移民長官。ユダヤ救済機関の代表として各国に亡命者の受け入れを依頼するベン・ギャザラ(深海征服)。監督としても知られる、サム・ワナメイカー(マーベリックの黄金)が演じるのは、自殺をはかる元弁護士。その妻を演じているのは75年「シャンプー」でアカデミー助演賞を受賞したリー・グラント。フェルナンド・レイ(フレンチ・コネクション)はキューバのブルー大統領。キューバの大実業家として堂々たる風格を見せるオーソン・ウェルズ(第三の男)。そして、愛する両親のために娼婦に身を堕して働くミラを演じているのは、この役で76年度ゴールデン・グローブ賞をさらったキャサリン・ロス(明日に向かって撃て！)。これらのスターたちは、顔を出すだけでなく、それぞれ見せ場を与えられているのである。

脚本はスティーブン・シュエガンとデビッド・バトラー。撮影は『風とライオン』のビリー・ウィリアムズ。音楽のラロ・シフリンは、ローゼンバーグ監督の『暴力脱獄』を手がけたことから、今回の起用になったという。

(上映時間2時間14分)



フェイ・ダナウェイ
FAYE DUNAWAY



オスカー・ウェルナー
OSKAR WERNER



リー・グラント
LEE GRANT



サム・ワナメイカー
SAM WANAMAKER



マリア・シェル
MARIA SCHELL



ヘルムート・グリーム
HELMUT GRIEM



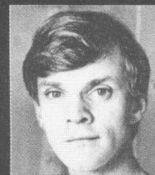
オーソン・ウェルズ
ORSON WELLES



キャサリン・ロス
KATHARINE ROSS



マックス・フォン・シドー
MAX VON SYDOW



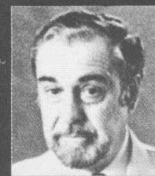
マルコム・マクドウェル
MALCOLM McDOWELL



リン・フレデリック
LYNNE FREDERICK



ホセ・ファラー
JOSE FERRER



フェルナンド・レイ
FERNANDO REY



ベン・ギャザラ
BEN GAZZARA

■8月下旬、感動の文芸大ロードショー決定！

ヒビヤ有楽座 (591) 5351